

# 自分の考えを主体的に伝え合うグループ学習の工夫

－役割分担シートを活用した古典指導を通して－

特別研修員 生徒指導・教育相談 藤井絵美（高等学校教諭）

## 【生徒の実態】

- 「意見を発表する学習」「難易度の高い学習（古典含む）」に不安を感じる生徒が多い。
- 「自分の意見に自信が持てず、他者の目を気にしすぎる」生徒が多い。
- 他者とのコミュニケーションを苦手とし、人間関係づくりに消極的な生徒もいる。

## 【生徒指導提要】

- 生徒一人一人が学校や学級・ホームルームの中での居場所をつくる。
  - 生徒に自己存在感や自己有用感を味わわせる。
  - 教科において生徒指導を充実させる。
- 【群馬県高校生ステップアップサポート事業】
- 「主体的・対話的で深い学び」の推進

〈目指す生徒像〉 「自分の考えを主体的に伝え合う生徒」

## 実践1

シグソー法を用いた  
役割分担による  
自分の考えを伝え合う活動  
《学習課題》

『徒然草』の各章段を読み比べて、  
作者のメッセージを読み取ろう。



## 手立て1

### 一人一人に役割のある グループ学習の導入

- ・一人一人に責任のある状況をつくる。
- ・「傾聴」の大切さを意識する。

## 手立て2

### 役割分担シートの活用

- ・役割を意識し、意欲を高める。
- ・付箋紙を利用して評価のコメントと感謝のメッセージを伝える。

## 実践2

ビブリオバトルへの挑戦を通じた  
互いに支え合い認め合う活動  
《学習課題》  
古典作品ビブリオバトルに挑戦しよう。



伝え合えることの  
喜びを実感

認めてもらえた  
ことを実感

全員が活躍

グループで相互評価

人間関係と学習面の自信の醸成につながる

## 【成果】

- 役割のあるグループ学習の導入により、意見発表への抵抗感を抱える生徒が減少した。  
4月 95% → 10月 46%
- 役割分担シートの活用により、自分の役割に責任を持って意欲的に取り組み、主体的に伝え合えた。
- 付箋紙を用いた相互評価により、互いに支え合い、認めてもらえたことを実感できた。
- 古典を苦手科目とする生徒が半減した。  
4月 95% → 10月 46%

## 【課題】

- 意見発表に抵抗を持つ生徒がまだ半数近くいるほか、「古典」に対する苦手意識を持った生徒も半数近くいる。抵抗感なく他者と関わって、意見発表をしたり、苦手なことにも挑戦したりすることができるよう、自分の考えを伝え合うグループ学習を継続して授業に取り入れていきたい。
- 役割分担シートは、生徒の実態に合わせて、生徒が主体的に取り組めるものとし、徐々に自由度の高い役割分担シートになるように改善していきたい。